

会議録

会議の名称	平成30年度第1回行田市子ども未来審議会
開催日時	平成30年8月10日（金） 開会：午前10時00分 閉会：午前11時30分
開催場所	行田市産業文化会館2階 第2会議室
出席者（委員） 氏 名	馬橋正芳、馬場恵喜子、大野真理、平塚由紀、江森弘安、 桑原宏安、望月昌幸、岡田安弘、堀内由紀、大澤栄、松島弘、町田祥子
欠席者（委員） 氏 名	横田康介、老本理恵、出井宏美
事務局	健康福祉部長 夏目眞利 子ども未来課 課長 新井康夫、子ども未来推進幹 上野浩二、 主幹 吉田秀和、主査 綿貫友和
会議内容	1 開会 2 委嘱状交付 3 自己紹介 4 議事 (1) 会長及び副会長の選出 (2) 議事録署名人の選出 (3) 行田市子ども未来審議会について (4) 子ども・子育て支援新制度について (5) 今後のスケジュールについて (6) その他 5 閉会
会議資料	（資料名・概要等） 次第 資料1 行田市子ども未来審議会委員名簿 資料2 行田市子ども未来審議会について 資料3 子ども・子育て支援新制度について 資料4 今後のスケジュール（予定） 資料5 行田市子ども未来審議会条例 資料6 子ども・子育て支援法 （参考資料） ・行田市子ども・子育て支援事業計画

	・行田市子育てガイドブック ・子ども・子育て支援新制度 なるほどBOOK	
その他必要事項	傍聴人なし	
会議録の確定	確定年月日	主宰者記名押印
	平成 年 月 日	⑩

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
健康福祉部長	1 開会 ○夏目健康福祉部長から挨拶 本日は大変お忙しい中、「第1回行田市子ども未来審議会」にご出席いただきありがとうございます。また、このたび皆様には、委員を快くお引き受けいただき、心から厚くお礼申し上げます。 平成27年度にスタートした「子ども・子育て支援新制度」では、子ども・子育て支援は市町村が地域の実情に応じて実施することとされており、その実施に当たっては、地域の子育て当事者や子育てに携わる方の意見や市民のニーズを十分に勘案・反映させ、市町村が策定する「子ども・子育て支援事業計画」に基づき実施するよう定められています。 「子ども未来審議会」は、子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て会議」と児童福祉法に基づく「児童福祉審議会」を今年の4月に統合し、設置されたもので、皆様方には、今後、平成32年度から平成36年度までの「第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定いただく運びとなります。どうか委員の皆様には、市民の子育てニーズに寄り添った計画策定に対するお力添えをお願い申し上げます。 結びに、委員皆様のますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げるとともに、皆様方の慎重審議をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。
事務局	2 委嘱状交付 ○夏目健康福祉部長から委員へ委嘱状の交付 ○欠席委員・定足数、傍聴人の報告
事務局	3 自己紹介 ○事務局及び委員の自己紹介
健康福祉部長	4 議事 ○会長が選出されるまで、夏目健康福祉部長が進行を務める。 （議題1）会長及び副会長の選出について 会長の選出について、自薦、他薦はございますか。 よろしければ、事務局案は何かありますか。
事務局	馬橋委員の会長選出を提案します。
健康福祉部長	事務局から、馬橋委員の会長選出が提案されました。馬橋委員、いかがですか。

馬橋委員	皆様がよろしければ、お引き受けいたします。
健康福祉部長	馬橋委員にご内諾いただきましたので、委員の皆様にお諮りいたします。
	(拍手)
健康福祉部長	拍手全員と認められますので、馬橋委員を行田市子ども未来審議会の会長と決めます。馬橋委員、どうぞよろしくお願いいたします。
健康福祉部長	会長が決まりましたので、以降の議事につきましては、会長にお願いいたします。
事務局	馬橋会長、会長就任の挨拶をお願いします。
会長	行田市子ども・子育て会議も会長をさせていただきましたが、今回も推薦をいただきました。微力ではございますが尽力していきたいと思えます。円滑な議事進行にご協力をお願いします。
事務局	以後につきましては、会長に議事の進行をお願いします。
会長	それでは、行田市子ども未来審議会副会長の選出を行います。どなたか副会長職についてご意見がございますか。
会長	ないようですので、事務局に案はありますか。
事務局	馬場委員をご提案させていただきます。
会長	事務局から、馬場委員の副会長選出が提案されました。馬場委員、いかがですか。
馬場委員	皆様がよろしければお引き受けします。
	(拍手)
会長	拍手全員と認められましたので、馬場委員を行田市子ども未来審議会の副会長と決めます。それでは、馬場副会長から就任の挨拶をお願いします。
副会長	少しでも力になれるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。
	(議題 2) 議事録署名人の選出について
会長	議題 2 の議事録署名人の選出についてでございますが、議事録は、「行田市会議録作成要綱」第 7 条に基づき会長が確認し、確定することとされておりますので、署名人の選出は行わず、後日、会長である私が確認をいたしますので、ご了承願います。
	(拍手)
会長	ご了承ありがとうございます。
	(議題 3) 行田市子ども未来審議会について
会長	続きまして、議題の 3 行田市子ども未来審議会について、事務局から説明を求めます。なお、議題の 3 から 5 までは事務局からの説明で

事務局	すので、説明に対する質問は、議題5が終わりましたら、一括して時間を設けます。よろしくお願いします。 それでは、行田市子ども未来審議会について、ご説明申し上げます。 ○事務局から資料2に基づき説明 ・ 設置目的・所掌事務・役割等について説明を行う。 - 特に、子ども・子育て支援事業計画（平成32年度～平成36年度）の策定、必要時には地域型保育事業の利用定員に対し、意見をいただきたい旨を説明する。
事務局	（議題4）子ども・子育て支援新制度について 次に、子ども・子育て支援新制度について、本市の現状と併せて説明申し上げます。 ○事務局から資料3に基づき説明 ・ 子ども・子育て支援新制度では、市町村も地方版子ども・子育て会議というべき機関を置くことが努力義務とされている。本市としては、行田市子ども未来審議会がそれにあたる。 ・ 行田市は人口が減る中で少子高齢化が進んでおり、出生数及び就学前人口が減少している。そのような中であっても世帯数は増加しており、核家族化の進行がわかる。子どもの預かり保育である保育所や学童保育室に対する保護者ニーズは増加傾向にあることが、本市の現状である。 ・ 行田市の各種子育て支援策を説明する。
事務局	（議題5）今後のスケジュールについて 次に、今後のスケジュールについて、申し上げます。 ○事務局から資料4に基づき説明 ・ 平成30年度は3回程度、平成31年度は6回程度の審議会を実施する。次回は12月に実施。 ・ 次回以降は、子ども・子育て支援事業計画策定のための市民のニーズ調査についての意見を伺いたい。なお、ニーズ調査及び計画策定については、専門家であるコンサルタント業者に委託する。
事務局	以上で、説明を終わらせていただきます。
会長	議題3から議題5までの説明が終わりました。これまでの説明に関する質疑の時間を設けたいと思います。質疑のある方は、挙手をお願い

望月委員 事務局	いします。 平成27年度から平成31年度までの現行計画について、スケジュールにはありませんが、総括・評価はするのでしょうか。 2点目として、計画を業者に委託するとのことですが、数字が違うだけで、計画内の文言など中身が他市と全く同じものをこれまでに見たことがあります。ニーズ調査は、コンサルタント業者へ委託するのではなく、市が主体となってやることは考えていませんか。 PDCAを行う必要はあるものと考えます。予定として、具体的に詰めてはおりませんが、平成31年度の第1回会議、計画策定前に行うようにしたいと考えます。 ニーズ調査について、調査自体は行政でできるかと思いますが、その後の分析の面が難しく、専門家に委託するのが適切であると考えますので、委託する方向で進めたいと思います。 ただし、ニーズ調査の内容について、国から詳細が示されておりませんが、必須調査項目に加え、行田市独自の内容を入れたいと考えています。
会長 大野委員	他にございますか。 多くの世帯から子育ての状況をお聞きし、計画に反映させたいと思うので、幼稚園・保育園・小学校から家庭へニーズ調査、アンケートを配布する等の方法をしていただければよいと思います。 将来的に、本市の税収も赤字になると思います。今後の計画において、県南部や都内へ移住されず、住み続けてもらえるような取組を入れてもらいたいと思います。
事務局	ニーズ調査につきましては、前回は世帯を無作為に抽出して配布しましたが、今回はご意見をいただきましたので、全世帯、学校やPTAによる配布・回収、そういったことも検討させてもらいたいと思います。 また、今回も5か年の計画ではありますが、その先をも見越した計画としたいと思います。委託業者にも確認し、市の将来推計等を審議会のお示しし、委員の皆様から意見をいただければと思います。
会長 大澤委員	他にございますか。 ニーズ調査の件についてですが、3、4割ではなく、7割程度の回収率がないと社会調査としてよくないと思いますので、ぜひ回収率を上げるようにしてもらいたいと思います。 また、子どもの不登校や非行には、隠れている背景、DV等家庭環境の問題があります。家庭・家族の問題は、なかなか表に表れません。子ども達の問題は、初期段階で対応するのが肝要であると考えますが、市役所庁舎内にある家庭児童相談室、そこまで行くのは敷居が

事務局	高い、難しい方も多くいると思います。電話対応等はできるのでしょうか。 回収率については、努力させていただきます。 家庭児童相談室では、相談員が電話相談も受け付けているほか、市では「こそだて応援訪問」を行い、直接こちらから出向くような取組を実施しています。
会長	他に質問はないようですので、次に進みます。
会長 事務局	(議題6) その他について 次に議題6、その他について、事務局から何かございますか。 次回の会議は、12月を予定しております。 また、報酬の振込先口座の登録用紙を事前にお送りさせていただいた方は、会議終了後、事務局まで登録用紙をお渡しください。 事務連絡は以上です。
会長	以上で、本日の議題が全て終了となりました。 円滑な議事進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。
事務局	5 閉会 本日の議事は全て終了いたしました。以上をもちまして、平成30年度第1回行田市子ども未来審議会を閉会といたします。

